

「人生のやる気デザイン」研究部会（第29回）

日時：2022年11月28日（月）13：00～15：30

場所：オンライン

出席：榎本淳子・倉住友恵・杉本希映・中井大介・中谷素之 各兼任研究員
山口和人所長・吉久知延・金沢千秋・泉水里香（野間教育研究所事務局）

欠席：渡辺弥生

内容：（1）倉住研究員報告：「青年期の時間的展望－過去展望と現在・未来との関連」について以下の先行図書を紹介

- ◆石川茜恵（2019）『青年期の時間的展望－現在を起点とした過去のとらえ方から見た未来への展望』ナカニシヤ出版
 - ・概要）著者の博士論文の書籍版。過去展望（過去のとらえ方）と過去・現在・未来の関連に関する意識（時間的関連性）についての研究。展開地図法と面接法を使用した介入も行っている
 - ・感想）面接において「誰かに語ること」の効果について指摘され、参考になった／未来展望が変化したとしても、実際に行動する人とならない人がいる気がする／未来展望は現在の心理状況や過去の解釈、他者要因だけではなく、その他の要因（就職活動の開始、本との出会いなど）によっても規定されるのではないか

（2）杉本研究員報告：「グリット（Grit）と Well-being の関連の検討－好奇心・パッション・困難な目標への対処方略に着目して－」の研究計画（案）を提出

（3）中谷研究員報告：「外国人／移民の児童・生徒の学習と動機づけ、適応」について、わが国の現状の報告と先行論文の紹介

1. 背景）わが国における日本語指導の必要な外国人児童・生徒の急増／外国人児童・生徒に関する教育心理学的研究の現状
2. 外国人児童・生徒の学習と適応に関する主題で取り上げた以下の論文を紹介
 - ・古川敦子（2017）「外国人児童生徒の教育において教員が感じる困難および意義に関する一考察」共愛学園前橋国際大学論集、17、39－50
 - ・Schachner, Vijver, Schwarzenhal, & Noack(2018) How all students can belong and achieve: Effects of the cultural diversity climate amongst students of immigrant and nonimmigrant background in Germany. Journal of Educational Psychology, 111, 703-716. <https://doi.org/10.1037/edu0000303>

・次回研究会 12月26日（月）13：00～